

行仙宿整備とトレラン支援

◇実施日 5月11日(土)～12日(日) 晴

◇参加者 梶野照雄 1名

吉野から本宮までを一泊(小仲坊泊)二日で駆け抜けるトレランが、ゴールデンウィークの翌週に行われ、行仙宿でコーラを販売し好評を得ている。この大会も参加者の減少などで終わりを迎えるようだ。

【5月11日】



登り出す

空き缶とペットボトルを登山口に降ろす

お昼前に登山口に着き、昼食を摂ってから登りだす。行仙宿に着いて持ってきた夕食や朝食などを管理棟に入れる。お堂も戸を開けて

換気する。

トイレットペーパーを焼却炉に入れ、薪材造りをした。女性2人が到着、持経宿からだそうで明日は21世紀の森へ降りる予定だそう。

午後3時過ぎ、昨日湯川君が持ち降ろせなかった空き缶とペットボトルを登山口に降ろした。再び小屋に戻りストーブに火を入れた。



本日の宿泊者と

薪ストーブの癒し

就寝

逆峰の男性一名が到着、埼玉の人で明日は玉置山でテン泊するそうだ。午後8時に発電機を止め管理棟で眠った。

【5月12日】

午前5時前に起きて小屋の様子を見に行く。埼玉の男性は出発準備をしていた。女性2名はまだ横になっていた。

午前5時過ぎに男性が出発、午前6時40分に女性2名も出発した。管理棟でゆっくり朝食を摂る。



出発準備中



女性2名も出発



朝食を温める

チェンソーを出して薪材造りをし、終わって倉庫に向かう途中、石垣に置かれた非常食入れの蓋を発見。6日に見つからなかった蓋がこんなところにあつた。蓋と隣の看板も小屋内に収納した。



蓋発見



忘れ物2着



灰を掻き出す

小屋入り口を入った所にハンガーに掛けたままのウェアが2着あつた。連休の宿泊者の忘れ物と思われる。暫くこのまま吊るしておくことにした。



スノコに割れ



1STランナー



入れ替わり後続が

ストーブの掃除を始めると、バケツに軽く2杯の灰を掻き出した。スノコを取り出してみると、割れている所がある。少し幅が広がっているが、鋳物なので当分は大丈夫だと思いきのまま戻した。ガラスは激落ちくん磨いた。ストーブに火を入れ、ランナーの到着を待つ。午前10時半になり、今年は誰も来ないのかと思っていたら、このトレイルランの常連の平山君がやってきた。今年の参加者は5名で、内2名が前鬼でリタイヤ。後続はご夫婦の2名だけだそう。コーラをお買い上げいただいたので、バナナと暖かいコーヒーを提供した。平山君が発発すると同時に後続の2名が到着、コーラ2本が売れ、バナナを食べ終えらるとすぐに南下を始めた。

午前11時には下山できるかと思っていたが、下山を始めたのは

11時40分だった。



下山を始める

気温は低め



雲が低くなる



12時過ぎに登山口に到着きお湯を沸かしてカップ焼きそばを食べ
て帰宅した。
(記：梶野)

行動タイム

5月11日

12:30 補給路登山口 12:50→13:20 行仙宿 15:16→15:45 補給
路登山口→16:25 行仙宿

5月12日

行仙宿 11:40→12:08 補給路登山口